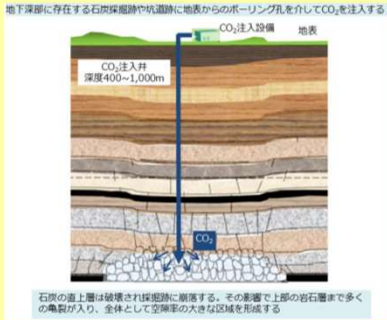


5 CO<sub>2</sub>地下固定実験

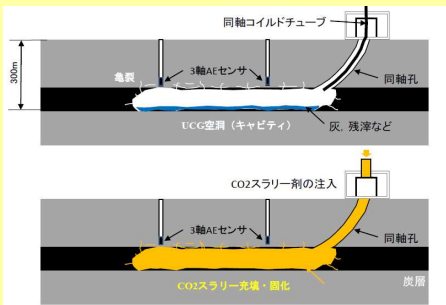
産炭地の地下に広がる石炭採掘跡に対してCO<sub>2</sub>を埋め戻して固定する。

(1) 地下固定方法

ア 気体のCO<sub>2</sub>を圧入 (CCS実験)  
CO<sub>2</sub>を石炭層に吸着および坑内水に溶解させることでCO<sub>2</sub>を地下に固定する。



イ CO<sub>2</sub>スラリーを注入 (CCUS実験)  
CO<sub>2</sub>が部材と反応し炭酸塩化することなどを利用して、CO<sub>2</sub>を安定的に地下に固定する。  
※ 将来的にはH-UCG空洞にも埋め戻す。



(2) 実験現場

令和4年夏頃、市内の石炭採掘跡にて陸域でのCCS/CCUS実験を実施する計画。



奔別炭鉱立坑槽

**奔別炭鉱** (1900-1971)  
東洋一と呼ばれた立坑槽を有する。  
2,650万トン採掘

**幌内炭鉱** (1879-1989)  
一世紀にわたり操業した近代炭鉱の先駆け。  
5,500万トン採掘

**実験現場**：三笠市役所から東 (高良野市方面) に5kmほどの距離にある炭鉱住宅跡地

令和4年5月、実験に向けてボーリング作業が始まりました。市HPで状況をお知らせしています。



ボーリング開始

実験現場



実験進捗をお知らせ (三笠市HP)



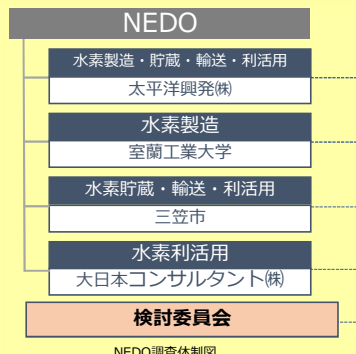
実験進捗をお知らせ (三笠市HP)

6 NEDO調査事業に採択

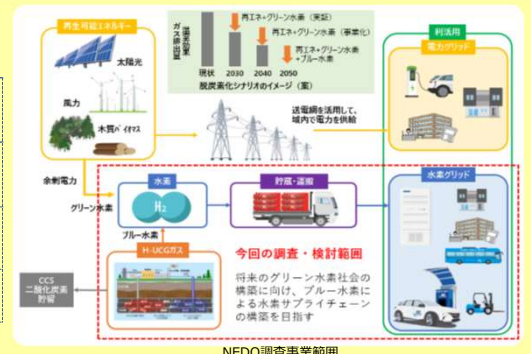
産学官連携の強みを生かしてH-UCGの実現性を調査します。

令和3年12月にNEDO (国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構) 公募事業『水素社会構築技術開発事業/地域水素利活用技術開発』の採択を受けて、大学および関係企業2社と連携して調査を進めています。

調査は、水素の製造や運搬などを踏まえた供給コストを算出し、H-UCGによる水素製造事業の実現性を評価することが目的であり、約20の研究機関や企業等で構成される検討委員会と意見交換などを行いながら、水素製造事業のスキームを構築します。



NEDO調査体制図



NEDO調査事業範囲

7 企業版ふるさと納税を募集中

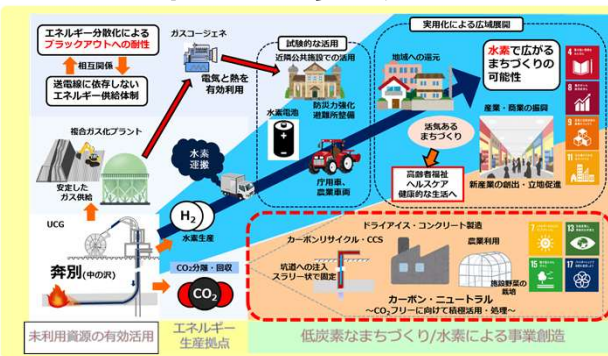
企業版ふるさと納税制度 (地方創生応援税制) を活用して、事業資金集めおよびまちづくりを進めています。

★ これまでに寄附いただいた企業 (掲載許可頂いた企業のみ)

ヤフー株式会社	ハーチ株式会社	株式会社中山組
(CO <sub>2</sub> 地下固定実験)		
株式会社丸庭佐藤建設	東京がエッジ・ソリューションズ株式会社	ハーチ株式会社 (2回目)
MARUNIWASATOH	TGES	Harch

8 新たなまちづくりへ

H-UCGによって未利用資源を活用し新たな産業と雇用を生み出すことで地域の活性化を図ります。



三笠市の挑戦に応援をお願いします!!!



三笠市HP